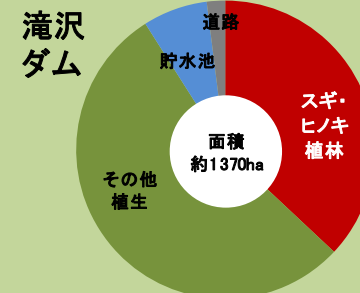
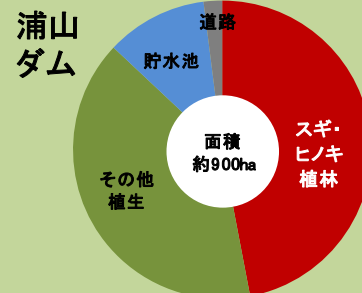


秩父地方のダム集水流域の山林が深刻な状況です

スギ・ヒノキ植林の荒廃



高木のみ密集し、表土が浸食されて根が露出



ダム湖周辺の多くはスギ・ヒノキ植林で形成※

山々に植林されてきたスギ・ヒノキを管理する人が現在減少しており、山林が荒廃した状況となってきています。

※河川水辺の国勢調査にて作成したダム湖環境基図の範囲面積で計算



深刻なシカの食害



下草が全くない樹林内



シカの食痕(枝葉の切断)



シカの忌避植物のみ繁茂



シカの糞

野生のシカが急激に増加し、若い木の芽や葉などを食べ荒らす食害で、次世代の木々が育たない状況となっています。



土砂災害の発生



山腹の大規模崩壊



大雨時の土砂流出

- ・ 大量の流出土砂や流木がダム貯水池内に一挙に押し寄せ堆積し、ダム機能の寿命を縮めてしまうことに繋がります。
- ・ 秩父地方のみではなく、日本各地の山間地共通の課題であり、森林管理のあり方や持続可能な社会を実現する上で、国土全体で必要な対策を図ることが求められています。